

国語演習

単位数	3単位	対象学年	3学年	対象コース・クラス	調理・服飾
使用教科書	新編 現代文B (東京書籍)	副教材等			

1. 学習の到達目標

近代以降のさまざまな文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現、読書することによって、人生を豊かにする態度を育てる。
 国語の総合的な力を高め、入試に対応できる力を培う。

2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

- ①論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。
- ②文学的な文章について、人物、情景、心情などを的確にとらえ、表現を味わう。
- ③さまざまな文章を読むことを通して、自分の考えを深めたり発展させたりする。
- ④語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに表現上の特色をとらえる。

3. 学習上のメッセージ

現代の文章を中心に読み、その内容を理解していきます。筆者の考えや登場人物の思いをしっかりと理解し、それらを自分の考えや行動に活かしていきましょう。そのためにも「読む」「書く」という活動が大切になります。また、述べられていることに対する自分の意見を文章にまとめていくことも必要でしょう。そのほか、言葉の意味や漢字についても十分に学び、正しい言語生活を送れる力をつけていってください。

特に大学進学を目標とするみなさんには、進んで文章を読み、自分の考えを表現してゆく学習を期待します。

4. 評価の観点・方法 (年間の評定)

評価は次の5つの観点から行う。

関心・意欲・態度	関連する文章を読んだり、自分の考えを深め、発展させようとしているか
話す・聞く能力	筆者や登場人物の生き方や表現について話し合ったり意見を聞いたりしているか
書く能力	筆者の考えや展開の仕方について意見を書こうとしているか
読む能力	文章の要旨や心情などを的確にとらえ、表現を味わうことができているか
知識・理解	語句の意味や用法を的確に理解し、表現上の特色をとらえているか

このため評価は具体的に次のものを対象とする。

- ①年5回の定期考査とその他小テスト
- ②授業中の発表や教材に基づくプリント等
- ③授業中の板書や自ら調べたことを書いたノートの提出
- ④広島桜が丘高校の生徒として規則に則った服装での学習活動への参加状況

1年間の評定は、年間を通じて総合的に行う。

5. 学習内容と評価について

単元名	使用教科書項目	指導内容と評価のポイント
評論	<ul style="list-style-type: none"> ・最初のペンギン ・もう一つの知性 	論理展開に注意して読み、内容を正確につかむ。 現代社会を生きていく上で、どのような態度が必要か考える。
入試対策	<ul style="list-style-type: none"> ・大学合格に向けて 	大学入試レベルの問題を解き、受験学習を進めることで、合格できる力をつける。自ら学習を進めようとする意欲を求める。
1 学期中間試験		
小説	<ul style="list-style-type: none"> ・カンガルー日和 	日常の中で形成される人生のあり方を読み取る。 ベストセラー作家の小説を通し、世の中がどのような小説を求めているのか考え、今後の自分の読書について見通す。
詩歌	<ul style="list-style-type: none"> ・竹 ・永訣の朝 ・一日の長さ 	比喻をはじめ詩的な表現の理解を深め、込められた作者の思いを味わう。 詩の鑑賞力を高め、自己の感性を豊かにする。
1 学期期末試験		
詩歌	<ul style="list-style-type: none"> ・春雷（俳句） 	短い句に託した作者の思いへの理解を深め、句の表現の豊かさを味わう。 俳句の鑑賞力を高め、自己の感性を豊かにする。
小説	<ul style="list-style-type: none"> ・こころ 	優れた小説を読み、構成、表現などの工夫を理解し、正しく読み取る。 「こころ」を通し、自分とは、友情とは何かという問題について考える。
2 学期中間試験		
評論	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉は世界を切り分ける 	論理展開に注意して読み、内容を正確につかむ。 言葉の性質を知り、日本語の表現を正しく理解し、使おうとする意欲を持つ。
小説	<ul style="list-style-type: none"> ・ベル・エポック 	語句の意味や表現上の特色に注意しながら読み、状況を確実に理解する。 登場人物の思いや行動を正しく読み取り、人間の生き方を考える。
2 学期期末試験		
随想	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェの開店準備 	本文を正しく通読し、筆者の考えを理解する。 自分たちの「生」をどのようにとらえるか、筆者の思いを元にして考える。
卒業試験		